

Impact of lipoprotein (a) levels on long-term outcomes in patients with coronary artery disease and left ventricular systolic dysfunction

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2019-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 設樂, 準 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002276

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2054 号

Impact of lipoprotein (a) levels on long-term outcomes in patients with coronary artery disease and left ventricular systolic dysfunction

(左室機能障害を有する冠動脈疾患患者においてリポプロテイン(a)値が長期臨床転帰に与える影響)

設楽 準 (したら じゅん)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、左室機能障害を有する冠動脈疾患患者における Lipoprotein(a)値が長期経過にどのような影響を与えるかを始めて検討した臨床的に意義ある論文である。近年、日本社会の高齢化に伴い、心不全患者の罹患者数は大きく増加していることは医療社会・経済においても大きな問題である。冠動脈疾患に対する治療の発展は著しく、冠動脈疾患患者の生命予後は改善してきているが、逆に冠動脈疾患患者の心不全発症による入院が増加して予後を規定している。今後心不全の再入院を減少させることは非常に注目されている分野であり価値のある研究と考える。心不全の治療として本論文は動脈硬化のリスク因子である Lipoprotein(a)への介入が心不全発症の予防につながる可能性があるという新規観点を見出した。統計的解析によって、左室機能障害を有する冠動脈疾患症例で Lipoprotein(a)が長期的な臨床経過の予測因子になり得るという結論を導いたことは極めて意義深い。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。